

安定収益企業から優良成長企業へ

当社は新たに2005年度に向けた成長戦略である中期経営計画「フェニックス21飛翔」を策定いたしました。これは「フェニックス21計画」で成し遂げた成果をもとに、経営環境の変化を必要に応じ早期に反映し、2005年度に向けて「安定収益企業」から、「優良成長企業」へと変革するための成長戦略を描いた中期経営計画であります。計画のキーコンセプトを「フェニックスの飛翔」と設定し、2001年度につきましては飛翔に向けた「準備の年」として企業価値増大の確固たる基礎を築きあげてまいります。

フェニックス21飛翔の狙い

計画の目的

安定収益企業としての構造改革を目指したフェニックス21計画の成果を踏まえて、「ネットワークソリューションの沖電気」として「e社会」に貢献し、グローバルに認知される優良成長企業を目指す

計画期間

2005年のありたい姿を目標とした中期計画（2002～2004年度）である

キーコンセプト：フェニックスの飛翔

- ネットワークソリューションの沖電気（企業ビジョンの実現）
- 企業価値の増大（収益とスピード）
- 沖電気ブランドのグローバルな認知
- ネットワーク型カンパニー経営



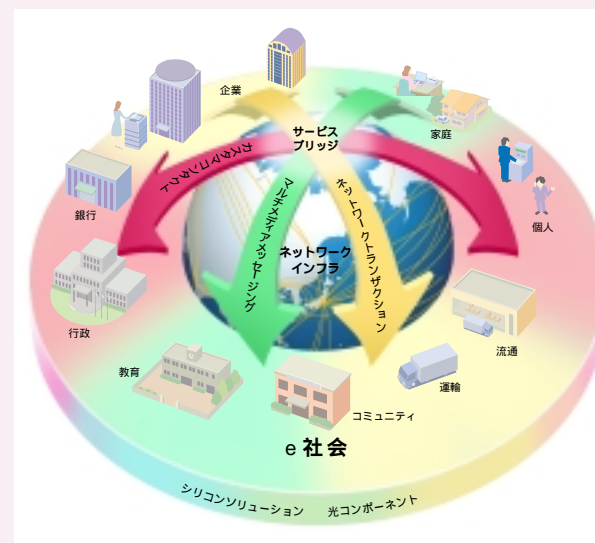
経営目標

ネットワーク型カンパニー経営の追求

| | |
|------|--|
| 株主価値 | ROE 12% (2005年度目標) 純利益 300億円 (2005年度目標) |
| 顧客価値 | ネットワークソリューションの提供 売上高 1兆円 (2005年度目標) |
| 社員価値 | コンピテンシーやスキルの向上 市場価値と成果による処遇 |

(数値は連結ベース)

e社会™



21世紀はe社会である

e社会の中核になるeビジネスを実現するためには従来のビジネスインフラに内包される「ひずみ」を正す必要がある

「ネットワークソリューションの沖電気」がネットワークインフラ上に3つのサービスブリッジを創造することで、ひずみに閉じ込められていた価値を解放し、e社会作りに貢献する

e社会

グローバルに張り巡らされたネットワークを基盤として時間と空間の制約を超え国・地域や文化の障壁を崩しあらゆる社会活動が「個」を中心に公平で安全・確実にされる